

# 寄せ蛾記

埼玉昆虫談話会

YOSEGAKI : Saitama Konchyu Danwakai

## 目 次

並木 彰雄：埼玉県のヤガ科	291
小堀 文彦：上尾市のテングチョウについて	294
寺山 守：白馬岳残雪上の昆虫	295
× × × ×：宿泊談話会開催される	297
市川 和夫：秩父郡大滝村川又の蛾	298
南部 敏明：川又、滝川周辺のハチ	301
碓井 徹：宿泊談話会で採集されたチョウ	302
神久保美津夫：狭山丘陵のCatocala 4種の記録	306
—————：入間市藤沢地区のコシロシタバ	306
竹内 崇夫：オオミドリシジミの産卵を観察	307
荻島 和美：イチモンジセセリの産卵例	308
萩原辰之助：秩父市羊山公園でクマゼミの声を聞く	308
原 聖樹：山梨県勝沼町でニホンセセリモドキを採集	309
市川 和夫：セスジスカシバの採集記録	309
石塚 勝己：ツマトビキエダシャクの産卵行動	310
平沢 和夫：ツマジロウラジャノメ第1化を採集	310
× × × ×：訂正/件	310
碓井 徹：埼玉県下でウラミスジシジミを採集	311
—————：奥秩父中津川のクロツバメシジミ	311
会報	312



## 埼玉県のヤガ科 ( I )

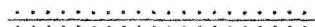
並木彬雄

今回は、ウスベリケンモン亜科、及びケンモンヤガ亜科をまとめてみた。

いずれの亜科も少々の採集可能な種を残して、だいたい出つくしたと思いま  
す。いずれも、私の採集品と私の所に集まつた未発表データーを中心に書きま  
したが、一部文献等からも引用致しました。これ等は、「埼玉県動物誌」にく  
わしく書かれておりますので、参考に見てください。

又、学名等は新しいものと心がけましたが、私事ですがこの所、商売その他で急しく、こと3、4年採集等に出ておらず、又、文献等も調査致しておりま  
せんので、記録等の落ちがあると思われますが、私の採集記録と思って読ん  
でいただければ幸いです。

採集記録に氏名のない物は、私が採集し保管している標本です。他の記録は、  
採集者が保管しておりますが、一部、私の所に来ております。



## ウスベリケンモン亜科 Pantheinae

1. ウスベリケンモン *Anacronicta nitida* BUTLER

川口市、鳩ヶ谷市、宝登山、志賀坂峠、大洞川上流、三国峠、  
5月中旬より8月下旬

2. コウスベリケンモン *A. caliginea* BUTLER

浦和市(動物誌) 5月上～下旬

3. ナマリケンモン *A. plumbea* BUTLER

川口市 1♀ 1-VII-1958 (並木) 私の蛾の採集初期の標本で、自宅に  
飛来。月日は不明ですが、8月頃と思われます。腹部紛失で性別不明。

4. カラフトゴマケンモン *Panthea coenobita idae* BRYK

志賀坂峠 (1♀ 1-VII-1973) 三国峠 (2♂ 9-VII-1972,  
1♂ 16-VIII-1974, 1♂ 15-VI-1975 (小林謙太郎))  
他に甲武信小屋 VIII (早稲田蛾報) の記録が有る

5. キバラケンモン *Trichosea champa* MOORE

正丸峠、志賀坂峠、三峰山、三国峠  
5月中旬より9月上旬までの記録が有る

6. ネグロケンモン *Colocasia mus* OBERTHÜS

志賀坂峠、三峰山、大洞川上流、三国峠  
5月上旬より8月中旬までの記録が有る

## ケンモンヤガ亜科 Apatelinae

1. アオケンモン *Belciades virens* BUTLER

大洞川上流 (1♂ 23-VI-1974) 三国峠 (2♂ 9-VII-1972)

2. ミドリケンモン *Daseochaeta viridis* LEECH

定峰峠、秩父市川俣、大輪、柄本川又、  
10月上旬より11月上旬までの記録が有る

3. ゴマケンモン *Moma alpium* OSBECK

浦和市、大宮市、所沢市、寄居町、志賀坂峠、宝登山、三峰山  
平地で6月上中旬、山地で5月上旬より7月上旬までの記録が有り、又  
平地で8月下旬の記録が有るため、年2化の可能性がある

4. キクビゴマケンモン *M. fulvicollis* deLATTIN

志賀坂峠、三峰山、大洞川上流、三国峠  
6月中旬より7月上旬までの記録が有る

5. スギタニゴマケンモン *Harrisimemne marmorata* HAMPSON

三峰山、柄本、志賀坂峠、三国峠  
8月上旬より9月上旬までの記録が有る

6. ニッコウアオモン *Nacna malachitis* OBERTHÜR

志賀坂峠、三峰山、大洞川上流、三国峠  
6月下旬より8月中旬までの記録が有る

7. ヒトテンケンモン *Gerbathodes ypsilon* BUTLER

志賀坂峠、三峰山、大洞川上流、三国峠  
5月下旬より7月下旬までの記録が有る

8. ヒメケンモン *G. angusta* BUTLER

名栗鉱泉、長瀬、宝登山 VIII (動物誌)

9. ナシケンモン *Acronicta rumicis* STRAND

浦和市、川口市、鳩ヶ谷市、大宮市、顔振峠、黒山鉱泉、東秩父村落合  
志賀坂峠、4月上旬より10月上旬までの記録が有る

10. ウスズミケンモン *A. carbonaria* GRAESER

新座町平林寺 IV (蛾類通信)、染場 IV (動物誌)

11. マダラウスズミケンモン *A. suborrrata* LEECH

大宮市 IV (蛾類通信)、東秩父村柄本 (2♂ 25-IV-1976  
1♀ 1♂ 17-IV-1976)

12. キシタケンモン *A. catocaloida* GRAESER

宝登山 (1♂ 7-IV-1960)、三国峠 (1♀ 9-VII-1972)

1 ♂ 16-VIII-1974 )

13. クビグロケンモン *A. digna* BUTLER

鳩ヶ谷市 (1 ♂ 11-IX-1958 有藤 寛一郎)

14. シロハラケンモン *A. pulverosa* HAMPSON

大宮市 V (動物誌)

15. リンゴケンモン *A. incretata* HAMPSON

川口市、浦和市、定峰峠、志賀坂峠、大洞川上流  
4月下旬より7月中旬までの記録が有る

16. キハダケンモン *A. leucocuspis* BUTLER

川口市 (1 ♀ 16-VII-1973, 1 ♀ 14-IX-1968)

17. ウスムラサキケンモン *A. subpurpurea* MATSUMURA

三国峠 (1 ♂ 9-VII-1972, 1 ♂ 1 ♀ 16-VII-1974,  
1 ♂ 3-VII-1975)

18. ハンノケンモン *A. alni* LINNÉ

大洞川上流 (1 ♂ 11-VI-1975, 1 ♀ 23-VI-1974)  
三峰山 (1 ♀ 14-VI-1969)

19. オオケンモン *A. major* BREMER

志賀坂峠、三峰山、三国峠、7月上旬及び8月上旬の記録が有る

20. シロシタケンモン *A. hercules* C. et R. FELDER

川口市、浦和市、宝登山、志賀坂峠、三峰山、三国峠  
4月上旬より9月上旬の記録が有る

21. サクラケンモン *A. strigosa* adaucta WARREN

浦和市、上中尾、中津川、VI..VII (動物誌)

22. アサケンモン *A. consanguis* BUTLER

川口市 (1 ♂ 15-IX-1963)

23. シロケンモン *A. leporina* loporella STANDINGER

大洞川上流 (2 ♂ 23-VI-1974)、三国峠 (1 ♂ 15-VI-1975  
(小林 謙太郎))

24. オオホソバケンモン *A. cuspis* HÜBNER

三峰山 (1 ♂ 5-VII-1964)

25. クロフケンモン *Craniophora jankowskii* OBERTHÜR

三峰山、大洞川上流、三国峠、6月上旬より8月中旬の記録が有る

26. イボタケンモン *C. ligustri* DENIS et SCHIFFERMÜLER

大滝村落合、柄本、三峰山、三国峠、  
5月上旬及び、8月中旬から9月中旬までの記録が有る

27. ニッコウケンモン *C. praelara* GRAESER

大洞川上流、三国峠、7月上旬より8月中旬までの記録が有る

以上、ウスベリケンモン亜科6種、ケンモンヤガ亜科27種を記録した。両亜科とも、今後採れても1~2種位な所でしょう。終りに、データーをいただきました川口昆虫同好会々員の皆様に、紙面をもって、お礼申し上げます。

参考文献、埼玉県動物誌 蛾類通信 早稲田蛾報

( 332 川口市並木元町 5-2 )



## 上尾市のテングチョウについて

小堀文彦

上尾市でテングチョウを採集、目撃したので報告します。

### 1. 1981年7月26日 2♂採集、1個体目撃

場所：上尾市大宮ゴルフコース外縁（桶川市寄り）

ゴルフコースの外側の雑木林に生えているヤブカラシでアゲハ類を探っていると、12時半頃に、アスファルトの路上でテングチョウが、単巴飛翔をしていた。からみあい、まるで風車のように、ほとんど路面をこすりながら飛んでいた。この2頭は採集に成功した。このうちの1頭は、両前翅先端を欠損していた。また、2頭共、下唇鬚を1本欠いていた。あるいは、これは路上を転った際に傷ついたものかも知れない。

1時頃に、同じ場所でもう1頭を目撃した。そのチョウは付近の竹林の中かそのそばの雑木林の中から出てきて、大きな波型の飛跡を描いて飛び去った。

### 2. 1981年8月2日 1個体目撃

場所：同上

テングチョウを採集しようと、同じ場所で3時間ほどねばつた。するとやはり、12時半頃に、道路にはり出した木の枝に止まる個体をはっきりと確認することができた。

なお、付近にはエノキが多く、ゴマダラチョウはかなり発生している。

( 363 桶川市下日出谷 1368-5 )

## 白馬岳残雪上の昆虫

## ——昆虫の分散に於ける風の影響力について——

寺山守

昆虫の分散あるいは分布の拡大に“大気の動き”が大きな要因となる場合がある。セジロウンカやトビイロウンカは日本では、毎年南方の温暖地域より気団の動きに乗って成虫が飛来し、オガサワラウロコアリでは、本種は熱帯地方に広く分布しているのであるが、雌が風に乗って運ばれて分布を拡大していると考えられている。又、台風によって南方から運ばれて来る迷蝶は周知の通りである。

筆者は1978年5月28日から6月5日及び1981年6月24日から6月28日の二度、残雪期の白馬岳へ登ったが、その折、標高2500m以上の高地に、本来ならばそこでは生息不可能な昆虫が風に吹き上げられて、雪面上に落下しているのを多く発見し、これを採集して持ち帰った。雪上である由に発見が容易であったのが幸いして、もっぱら低地に生息している昆虫で、しかもかなりの個体数が風によって、このような高地にも運搬されている事を知った。

このような山岳地域では、それらの種においては生息不可能な空間であるが、もしこれが風による運搬によって居住可能単位空間へ達した場合は、そこへ定着出来うる可能性は高く、しかも本例の示すとおり“風”のみの要因を考えても地域レベルでの分散はかなりの頻度でおこなわれているであろう由、風で運搬されて来た種のニッチが空いておれば、そこを占める確率もより高く、しかも環境の変化に応じて、そこを占める種類組成の入れかわりも、風による影響が加わることによって、さらにその時間的短縮が促進されるであろう。

各昆虫の分散力を想定するならば、風による移動力の占める割合は、各種類によって異なるであろうし、又、その依存度によって形態との間に相関を示す可能性は十分にありうると考えられる。つまり、地域レベルでの昆虫の分散における風の影響力は、種類によって異なり、アリマキ等では特にこれによる依存が大きいと思われる。又、山地性のアリでは、有翅雌による本ファクターによっての生息可能空間を獲得する頻度は、これを測定することは非常に難しいのであるが、かなりの高率を示すのではなかろうか。

長野県白馬岳（後立山連峰）の標高2500m以上の残雪上において採集された昆虫類。ただしセッケイカワゲラのように、もともとそこを生活の場としているであろう昆虫は除いてある。

## HEMIPTERA 半翅目

*Anaxandra gigantea* MATSUMURA オオツノカメムシ 27-VI-1981

*Phylloxeridae* spp.

少なくとも4種類の有翅アブラムシが吹き上げられており、個体数が非常に多い。風の影響を強く受けている昆虫と考えられる。

## DIPTERA 双翅目

*Epistrophe* sp. 2-VI-1978

*Eristalis ceraelis* FABRICIUS シマハナアブ 2-VI-1978, 26-VI-1981

*Megaspis zonata* FABRICIUS オオハナアブ 26-VI-1981

他にガガンボ科、ミバエ科、クロバエ科の双翅目昆虫を採集している。

## HYMENOPTERA 膜翅目

*Xylocopa appendiculata circumvolans* SMITH クマバチ 2-VI-1978

本種のようなものでも風で吹き上げられている事はおもしろい。

*Ichneumonidae* spp.

ヒメバチ科のハチは、7種類以上採集しており、個体数も多かった。

## COLEOPTERA 鞘翅目

*Maladera japonica* MOTSCHULSKY ビロウドコガネ 2-VI-1978

*Aiolocaria mirabilis* MOTSCHULSKY カメノコテントウ 2-VI-1978

*Coccinella septempunctata* LINNÉ ナナホシテントウ 26-VI-1981

*Propylaea quatuordecimpunctata* LINNÉ ヒメカメソコテントウ 27-VI-1981

*Harmonia axyridis* PALLAS ナミテントウ 2-VI-1978, 26-VI-1981

*Gonioctena japonica* CHUJO et KIMOTO トホシハムシ 27-VI-1981

*Gallerucida nigromaculata* BALY イタドリハムシ 26-VI-1981

宿泊談話会開催される

本誌№32の「お知らせ」で呼びかけのあった宿泊談話会が、会員の坂田正哉、佐々木和男の両氏と市川和夫氏のお骨折りにより、秩父郡大滝村川又の東大農学部演習林の学生宿舎をお借りして、8月28・29日の1泊2日で行われた。

28日9時40分、大雨の中を西武秩父駅に集合。現地から迎えに来て下さった坂田・佐々木両氏の車と市川氏の車3台に11名が分乗して、11時に川又学生舎に到着。昼食をとりながら自己紹介をした後、この演習林に勤務しておられる坂田・佐々木両氏により演習林の生物相等について詳しい説明がなされ当地の地図や冊子など、貴重な資料を頂いた。

午後になって雨はだんだん小降りになり、参加者が持参したスライドを皆で見ながら談笑しているうちに雨はあがって、2時すぎに車で入川の奥まで出かけることになった。晴れ間は見えないものの、雨はやんでチョウがチラホラする林道を矢竹沢のあたりまで行き、若干のチョウを探集することができた。

5時前に宿舎に戻り、遅れて到着した南部敏明氏が合流して総勢12名で豪華な夕食を食べて、いよいよナイターの開始。曇っていて時々霧雨がパラつく絶好のコンディションの中で誘蛾燈を設置して、またしばらくスライド観賞会となる。各人が持ち寄った虫や花のスライドの中で、特別参加された日本野鳥の会の加藤醇子さんによる、北海道のオオワシ、イヌワシの写真がひときわ印象的だった。

しばらく時間がたってボチボチ蛾が集まり始めてからは、参加者のほとんどが毒ビンやネット、カメラ等を持って露台に集まり、私などはこの光景を見て、この会の母体が「蛾類談話会」であった事を初めて実感として感じたのだった。

29日は、雲が少々あるものよく晴れ、滝川上部を走る国道140号を車で天狗岩トンネルの先まで行き、主にチョウの採集をした。前日、入川方面の調査では天候のせいで収穫の少なかったチョウ屋も、この日は大きな成果があったようだ。現地で昼食をとり、昼すぎに宿舎に戻って帰り仕度を整え、西武秩父駅に3時着。ここで解散して有意義だった宿泊談話会は終了した。

参加者（敬称略）赤羽トモ子 市川和夫 磐井徹 萩島和美  
 加藤醇子 坂田正哉 佐々木和男 南部敏明 氷室美芳  
 松井安俊・英子・純一（ご家族） 計12名

現地の坂田さんと佐々木さんには何かとお世話になりっぱなしでした。紙面をお借りしてあらためてお礼申し上げます。

## 秩父郡大滝村川又の蛾

市川和夫

1981年8月28日の晩に、川又にある東大農学部演習林宿舎の露台で青色蛍光灯を2本つけて夜間採集を実施したが、当夜は曇り時々小雨の天候で風もなく、比較的飛来数に恵まれた。蛾類については参加者の内の約半数の5~6名が同時に採集したが、それらの内、筆者が採集し手元に保存している種は次の通りである。

この夜に個体数が多かったものは、ヨツボシホソバ、スジモンヒトリ、オオアオバヤガ、カバイロリンガ、マルモンシロガ、オオウグイスシャチホコ、スジエグリシャチホコ、アオバシャチホコ、キドクガ、スカシドクガ、オビカギバ、ウスジロエダシャクであった。

末筆ながら、この宿泊談話会の労をとられた当演習林事務所に勤務される坂田正哉・佐々木和男の両氏に感謝します。

## スズメガ科

サザナミスズメ	Dolbina tancrei	2 exs.
ヒメサザナミスズメ	D. exacta	1 ex.
ウチスズメ	Smerinthus planus	1 ex.
ベニスズメ	Deilephila elpenor	2 exs.

## ヤママユガ科

ヤママユ	Antheraea yammai	1 ♂
------	------------------	-----

## ヒトリガ科

ヨツボシホソバ	Lithosia quadra	1 ♀, 1 ♂
スジモンヒトリ	Spilarctia seriatopunctata	3 ♀, 2 ♂
キハラゴマダラヒトリ	Spilosoma lubricipedata	1 ♀
フトスジモンヒトリ	S. obliquizonata	1 ♀

## トラガ科

ベニモントラガ	Seudyra venusta	1 ♂
---------	-----------------	-----

## ヤガ科

シロシタケンモン	Acronicta hercules	1 ex.
サクラケンモン	A. strigosa aduacta	1 ♂

イボタケンモン	Craniophora liqustri	2 ♂
カバスジヤガ	Sineugrapha exusta	1 ♂
オオアオバヤガ	Anaphectoides virens	4 ♂
アカモクメヨトウ	Apamea oriens	3 exs.
コマエアカシロヨトウ	A. askoldis	1 ♂
アカガネヨトウ	Euplexia lucipara	2 ♂
アオアカガネヨトウ	Karana laetevirens	2 ♂
モクメヨトウ	Axylia putris	1 ♀
マルモンシロガ	Sphragifera sigillata	1 ♂
カバイロリンガ	Hypocarea conspicua	5 ♂
ヤマトスジアオリンガ	Bena japonica	1 ♀, 1 ♂
マダラウワバの1種	Abrostola sp.	1 ♂
シロシタバ	Catocala nivea	2 ♀, 1 ♂
ベニシタバ	C. electa zalmunna	1 ex.
キシタバ	C. patala	1 ex.
ゴマシオキシタバ	C. nubila	2 ♂
コウンモンクチバ	Blasticorhinus ussuriensis	1 ♂
モンムラサキクチバ	Ercheia umbrosa	1 ♂
ウスエグリバ	Calyptra thalictri	1 ♂
ウンモンツマキリアツバ	Pangrapta trimatesalis	1 ♀
マンレイツマキリアツバ	Polysciera manleyi	1 ♂
アイモンアツバ	Bomolocha rivuligera	1 ♀
 シャチホコガ科		
シロシャチホコ	Cnethodonta grisescens	1 ♂
ナカスジシャチホコ	Nerice bipartita	1 ♂
トビスジシャチホコ	Notodonta rothschildi	2 ♀, 3 ♂
ナカキシャチホコ	Peridea gigantea	1 ♀, 1 ♂
オオウグイスシャチホコ	Szukia cinerea	5 ♀, 4 ♂
ツマジロシャチホコ	Allodontia sikkima leucodera	4 ♂
ハガタエグリシャチホコ	Hagapteryx admirabilis	1 ♂
エグリシャチホコ	Ptilodom robusta	3 ♀
スジエグリシャチホコ	P. hoegeri	6 ♀, 2 ♂
シロスジエグリシャチホコ	Fusapteryx ladislai	1 ♀
ハイイロシャチホコ	Microphalera grisea	2 ♀
コトビモンシャチホコ	Drymonia japonica	1 ♂

## 寄せ蛾記 (33) : 300

ヤスジシャチホコ	Epodonta lineata	1 ♂
アオバシャチホコ	Zaranga permagna	1 ♀、 3 ♂
ウスイロギンモンシャチホコ	Spatialiodes doerriesi	1 ♂
エゾギンスジシャチホコ	S. jezoensis	1 ♀
ドクガ科		
スギドクガ	Dasychira argentata	1 ♀
リンゴドクガ	D. pseudabielis	1 ♂
シロオビドクガ	Numenes albofascia	1 ♀
エルモンドクガ	Arctornis l-nigrum asahinai	1 ♀、 1 ♂
スカシドクガ	A. kumatai	4 ♀、 3 ♂
クロモンドクガ	Pida niphonis	1 ♀
キドクガ	Euproctis piperita	1 ♀、 1 ♂
カレハガ科		
リンゴカレハ	Odonestis pruni rufescens	1 ♂
カイコガ科		
オオクワゴモドキ	Oberthiiria falcigera	1 ♂
オビガ科		
オビガ	Apha tychoona	1 ♂
トガリバガ科		
ヒメウスベニトガリバ	Miothyatria aurorina	1 ♂
フタテントガリバ	Tethea duplaris	1 ♂
ヒトテントガリバ	T. fluctuosa	1 ♀
オオマエベニトガリバ	Saronaga consimilis	1 ♂
リギバガ科		
ヒダラカギバ	Callicilix abraxata	2 ♀
ヒトツメカギバ	Auzata superba	1 ♀
オビカギバ	Falcaria curvatula	4 ♀
ギンモンカギバ	Callidrepana patrana	2 ♂
シャクガ科		
オオアヤシャク	Terpnia superans	3 ♀
ウスアオシャク	Dindica virescens	1 ♀
キアミメナミシャク	Eustroma aerosa	1 ♂
ミヤマアミメナミシャク	E. inextricata	1 ♂
キマダラオオナミシャク	Gandaritis fixseni magnifica	1 ♀、 2 ♂
マダラエダシャクの 1 種	Abraxas sp.	3 ♀

オオゴマダラエダシャク	Percnia giraffata	1 ♂
オオシロエダシャク	Metabraxas clerica	1 ♀
マツオオエダシャク	Deileptenia ribeata	1 ♀
セブトエダシャク	Cusiala stipitaria karuizawensis	1 ♂
ウスジロエダシャク	Ectropis obliqua	7 ♀
オオトビエダシャク	Duliophyle majuscularia	1 ♀、 2 ♂
ゴマフキエダシャク	Angerona nigrisparsa	1 ♀
オイワケキエダシャク	Exangerona prattiaria	2 ♂
クワエダシャク	Hemerophila atritineata	1 ♂
ウスクモエダシャク	Ceruncina retractaria senilis	1 ♀
キリバエダシャク	Ennomos autumnaria nephotropa	1 ♀
ムラサキエダシャク	Selenia tetralunaria	1 ♀
メイガ科		
キバラノメイガ	Hedylepta noctescens	1 ♂

( 336 浦和市南本町 2-7-11 )

~~~~~  
川 又 、 滝 川 周 边 の ハ チ

1981年 8月 28日 川又

南 部 敏 明

|        |              |          |
|--------|--------------|----------|
| スズメバチ科 | キオビホオナガスズメバチ | 1 ♀、 1 ♂ |
| アナバチ科  | エゾジガバチモドキ    | 1 ♂      |

1981年 8月 29日 滝川 (国道沿い)

|       |         |     |
|-------|---------|-----|
| ツチバチ科 | キオビツチバチ | 1 ♂ |
|-------|---------|-----|

|           |          |           |     |
|-----------|----------|-----------|-----|
| スズメバチ科    |          | キイロスズメバチ  | 1 ♀ |
| クロスズメバチ   | 1 ♀      | ツヤクロスズメバチ | 1 ♀ |
| ミカドトックリバチ | 1 ♀      |           |     |
| アナバチ科     |          | マルマンアナバチ  | 1 ♂ |
| ヤマジガバチ    | 1 ♀      | エゾジガバチモドキ | 1 ♂ |
| ニッポンツチスガリ | 1 ♂      | クボヅギングチ   | 1 ♂ |
| ミズホギングチ   | 1 ♀、 5 ♂ | ナミギングチ    | 1 ♀ |
| ハトガユギングチ  | 1 ♀      | クロギングチ    | 1 ♂ |

( 369-12 大里郡寄居町桜沢 2397-2 )

宿泊談話会で採集されたチョウ

碓井 徹

1981年8月28・29日の両日、大滝村川又の東大演習林学生宿舎をお借りして行われた宿泊談話会の折、参加者12名の内の約半数がチョウの採集を行い大きな成果をあげた。本来は、採集者各人によってその成果を発表されるべきであろうが、採集した種の多くが重複することと、まとめて発表した方が全体の様子を把握しやすいと思われることなどから、両日、チョウの採集を行った方々から、筆者が記録を頂いてまとめて発表する形式をとった。

参加者の内、チョウの採集を行ったのは次のメンバーである。

赤羽トモ子 碓井徹 萩島和美 佐々木和男 氷室美芳  
松井安俊 松井英子 松井純一 (敬称略)

なお、未筆ながら、この様な形で記録を発表することを快諾され、さっそく記録をお送り下さった上記の方々にお礼申し上げます。

※ 各人の記録をまとめるにあたり、次の点に留意した。

1. 採集地を3つに分けた。すなわち、28日の入川渓谷(矢竹沢を含む)、28・29日の川又(宿舎)周辺、29日の滝川(国道140号の天狗岩トンネル周辺)である。
2. いわゆる“汚損度記号”は次の様に統一して使用した。  
①・・・新鮮 ②・・・やや汚損 ③・・・かなり汚損  
なお、この記号についてお知らせがあります。本号の「会報」をご覧下さい。
3. 採集記録と目撃記録がある場合は、採集記録のみ掲載。目撃記録しかない種についてのみ、“目撃”として記録を出している。



1981年8月28日(曇り)入川渓谷

アゲハチョウ科

ミヤマカラスアゲハ 1♀(◎) 1♂(◎) 佐々木和男

## シロチョウ科

|             |                               |                      |
|-------------|-------------------------------|----------------------|
| エゾスジグロシロチョウ | 1 ♀ (◎)<br>2 ♂ (◎)<br>1 ♂ (○) | 松井純一<br>松井安俊<br>碓井 徹 |
| スジグロシロチョウ   | 1 ♀ (◎)<br>2 ♀ (○)            | 荻島和美<br>碓井 徹         |

## シジミチョウ科

|        |          |      |
|--------|----------|------|
| ヤマトシジミ | 1 ♂ (○)  | 松井安俊 |
| ルリシジミ  | 2 ♂ (○○) | 松井安俊 |

## タテハチョウ科

|          |                    |               |
|----------|--------------------|---------------|
| イチモンジチョウ | 1 ♂ (◎)<br>1 ♂ (○) | 碓井 徹<br>荻島和美  |
| コミスジ     | 1 ♂ (◎)<br>1 ♀ (○) | 松井安俊<br>荻島和美  |
| サカハチチョウ  | 1 ♀ (○)            | 佐々木和男         |
| クジャクチョウ  | 1 ♂ (○)            | 赤羽トモ子         |
| スミナガシ    | 1 ♀ (○)<br>2 ♂ (○) | 佐々木和男<br>荻島和美 |

## ジャノメチョウ科

|           |         |      |
|-----------|---------|------|
| クロヒカゲ     | 1 ♀ (○) | 碓井 徹 |
| ヒメキマダラヒカゲ | 1 ♀ (○) | 松井安俊 |

## セセリチョウ科

|          |                    |              |
|----------|--------------------|--------------|
| アオバセセリ   | 1 ♂ (○)            | 荻島和美         |
| イチモンジセセリ | 2 ♂ (○)<br>1 ♂ (○) | 荻島和美<br>碓井 徹 |
|          |                    |              |

1981年 8月 29日 (晴れ) 滝川 (国道 140号沿い)

## アゲハチョウ科

|           |                    |               |
|-----------|--------------------|---------------|
| カラスアゲハ    | 2 ♂ (○○)           | 松井安俊          |
| ミヤマカラスアゲハ | 1 ♂ (○)<br>1 ♂ (○) | 赤羽トモ子<br>荻島和美 |
|           |                    |               |

## シロチョウ科

|             |                               |                      |
|-------------|-------------------------------|----------------------|
| エゾスジグロシロチョウ | 1 ♂ (○)<br>1 ♀ (○)<br>1 ♂ (○) | 氷室美芳<br>松井安俊<br>碓井 徹 |
| スジグロシロチョウ   | 1 ♂ (○)<br>4 ♂ (○○)           | 赤羽トモ子<br>碓井 徹        |

## モンキチョウ科

|     |     |       |       |
|-----|-----|-------|-------|
| 3 ♀ | 5 ♂ | (①~⑩) | 松井純一  |
| 1 ♀ | 1 ♂ | (①)   | 赤羽トモ子 |
| 3 ♂ | (①) |       | 荻島和美  |

## キチョウ科

|     |     |     |       |
|-----|-----|-----|-------|
| 1 ♀ | 1 ♂ | (①) | 赤羽トモ子 |
| 1 ♀ | (①) |     | 荻島和美  |
| 2 ♂ | (①) |     | 碓井 徹  |

## シジミチョウ科

## ルリシンジミ

|     |     |     |      |
|-----|-----|-----|------|
| 1 ♀ | 1 ♂ | (①) | 松井安俊 |
|-----|-----|-----|------|

## ツバメシジミ

|     |     |  |       |
|-----|-----|--|-------|
| 2 ♂ | (⑩) |  | 松井安俊  |
| 1 ♂ | (①) |  | 赤羽トモ子 |
| 1 ♂ | (①) |  | 碓井 徹  |

## マダラチョウ科

## アサギマダラ

|     |     |  |       |
|-----|-----|--|-------|
| 3 ♂ | (①) |  | 松井安俊  |
| 1 ♂ | (①) |  | 赤羽トモ子 |
| 2 ♂ | (⑩) |  | 荻島和美  |
| 2 ♂ | (①) |  | 碓井 徹  |

この♂もは、この原稿のタイプを打って  
いる10月//日現在でも、わが家の冷蔵  
庫内で生き続けている。

## タテハチョウ科

## ウラギンヒョウモン

|     |     |  |      |
|-----|-----|--|------|
| 1 ♀ | (⑩) |  | 碓井 徹 |
|-----|-----|--|------|

## イチモンジチョウ

|     |     |     |          |
|-----|-----|-----|----------|
| 1 ♂ | (⑩) |     | 松井安俊     |
| 1 ♀ | (⑩) | 1 ♂ | (①) 碓井 徹 |

## コミスジ

|     |      |     |          |
|-----|------|-----|----------|
| 2 ♀ | (①⑩) | 1 ♂ | (⑩) 松井安俊 |
| 1 ♂ | (⑩)  |     | 赤羽トモ子    |

## サカハチチョウ

|     |     |     |       |
|-----|-----|-----|-------|
| 3 ♂ | (⑩) |     | 松井安俊  |
| 1 ♀ | 1 ♂ | (⑩) | 赤羽トモ子 |
| 1 ♀ | (⑩) |     | 碓井 徹  |

## クジャクチョウ

|     |     |  |      |
|-----|-----|--|------|
| 1 ♀ | (⑩) |  | 松井安俊 |
|-----|-----|--|------|

## キベリタテハ

|     |     |  |       |
|-----|-----|--|-------|
| 2 ♂ | (①) |  | 松井安俊  |
| 1 ♀ | (①) |  | 赤羽トモ子 |
| 2 ♂ | (①) |  | 荻島和美  |

## ルリタテハ

|        |    |  |      |
|--------|----|--|------|
| 3 exs. | 目撃 |  | 松井安俊 |
|--------|----|--|------|

## シータテハ

|     |     |     |      |
|-----|-----|-----|------|
| 1 ♀ | 1 ♂ | (①) | 碓井 徹 |
|-----|-----|-----|------|

## アカタテハ

|     |     |     |      |
|-----|-----|-----|------|
| 1 ♂ | (⑩) |     | 松井安俊 |
| 1 ♀ | 1 ♂ | (①) | 荻島和美 |

## スミナガシ

|       |     |  |       |
|-------|-----|--|-------|
| 1 ex. | (⑩) |  | 赤羽トモ子 |
|-------|-----|--|-------|

## ジャノメチョウ科

## ジャノメヂョウ

|     |     |  |      |
|-----|-----|--|------|
| 1 ♀ | (⑩) |  | 松井安俊 |
|-----|-----|--|------|

|            |                                                          |                                                     |
|------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| (ジャノメチョウ)  | 1 ♂ (①)<br>1 ♀ (◎)                                       | 赤羽トモ子<br>碓井 徹<br>この♀を生かして持ち帰り、強制産卵により、8月31日に84卵を得た。 |
| ツマジロウラジャノメ | 1 ♂ (①)<br>2 ♀ (◎)<br>1 ♀ 1 ♂ (①)<br>2 ♀ (◎●)<br>2 ♀ (①) | 氷室美芳<br>松井安俊・純一<br>赤羽トモ子<br>荻島和美<br>碓井 徹            |
| クロヒカゲ      | 1 ♀ (◎)                                                  | 赤羽トモ子                                               |
| コジャノメ      | 目 撃                                                      | 赤羽トモ子                                               |
| ヒメキマダラヒカゲ  | 1 ♀ (◎)                                                  | 碓井 徹                                                |
| セセリチョウ科    |                                                          |                                                     |
| イチモンジセセリ   | 3 ♂ (①◎)<br>1 ♂ (①)<br>1 ♀ (◎)                           | 松井安俊<br>赤羽トモ子<br>碓井 徹                               |

1981年 8月 28・29日 川又

|         |                      |              |                     |
|---------|----------------------|--------------|---------------------|
| アゲハチョウ科 |                      |              |                     |
| オナガアゲハ  | 1 ♂ (◎)              | 28 日         | 碓井 徹                |
| シジミチョウ科 |                      |              |                     |
| ヤマトシジミ  | 1 ♂ (①)              | 28 日         | 碓井 徹                |
| タテハチョウ科 |                      |              |                     |
| シータテハ   | 1 ♂ (①)              | 29 日         | 松井安俊                |
| スミナガシ   | 1 ex. (◎)<br>1 ♂ (◎) | 28 日<br>28 日 | 氷室美芳<br>松井安俊        |
| オオムラサキ  |                      |              | この2個体は共に夜の燈火採集で得られた |
|         | 1 ex.                | 目撃 29 日      | 当日の昼頃、宿舎前で数名の参加者が目撃 |

この他に、次の記録が寄せられている。

ウラギンシジミ科 ウラギンシジミ 1 ♀ (①)

8月29日、二瀬ダム付近でクズの花のつぼみへの産卵を目撃（松井）

狭山丘陵の Catocala  
4種の記録

神久保美津夫

1981年8月1日と8月8日の2回にわたり、狭山丘陵(埼玉県立自然公園)の一部で夜間、糖蜜採集を行った結果、次の Catocala 4種を採集できた。

8月1日(晴) 夜8時~9時30分

シロシタバ Catocala nivea 2exs. キシタバ C. patala 4exs.

コシロシタバ C. actaea 9exs. マメキシタバ C. duplicata 5exs.

8月8日(霧) 夜8時~10時

シロシタバ C. nivea 1ex. キシタバ C. patala 4exs.

コシロシタバ C. actaea 9exs. マメキシタバ C. duplicata 5exs.

なお、狭山丘陵でのシロシタバとマメキシタバは初記録と思われる。採集、報告にあたり、アドバイスいただいた石塚勝己氏に感謝する。

( 358 入間市下藤沢 158 )

入間市藤沢地区のコシロシタバ

神久保美津夫

1981年7月25日~8月6日まで、5回にわたり、上藤沢、下藤沢のクヌギ林を夜間採集したところ、次の成果が得られた。

7月25日 コシロシタバ C. actaea 4exs.

7月26日 コシロシタバ C. actaea 9exs.  
キシタバ C. patala 1ex.

7月27日 コシロシタバ C. actaea 12exs.

7月31日 コシロシタバ C. actaea 5exs.

8月 6日 コシロシタバ C. actaea 5exs.

藤沢地区に点在する雑木林には、極地的ではあるが、まだ相当数の Catocala が生息しているものと思われる。

( 358 入間市下藤沢 158 )

オオミドリシジミの産卵を観察

竹内 崇夫

狭山市西武ゴルフ場周辺でクロシジミを探していた時、下図の様にオオミドリシジミの産卵を目撃しました。

図. 1

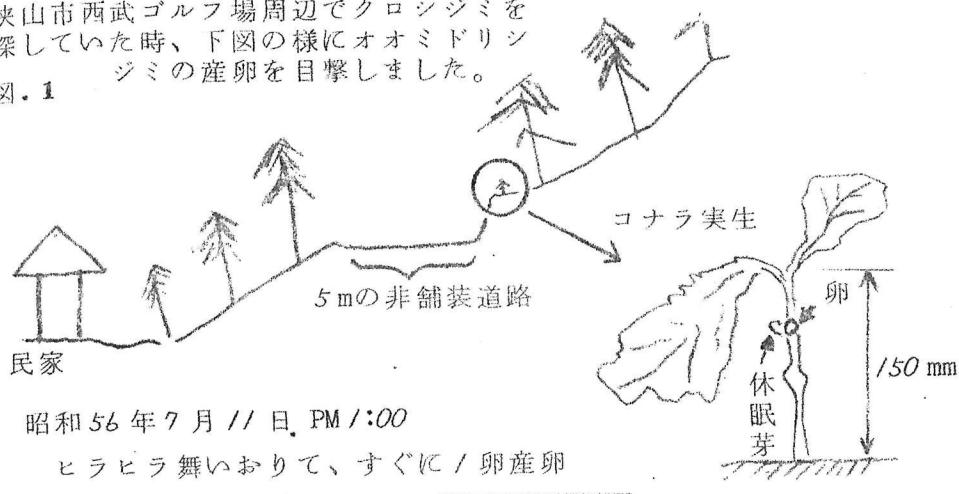
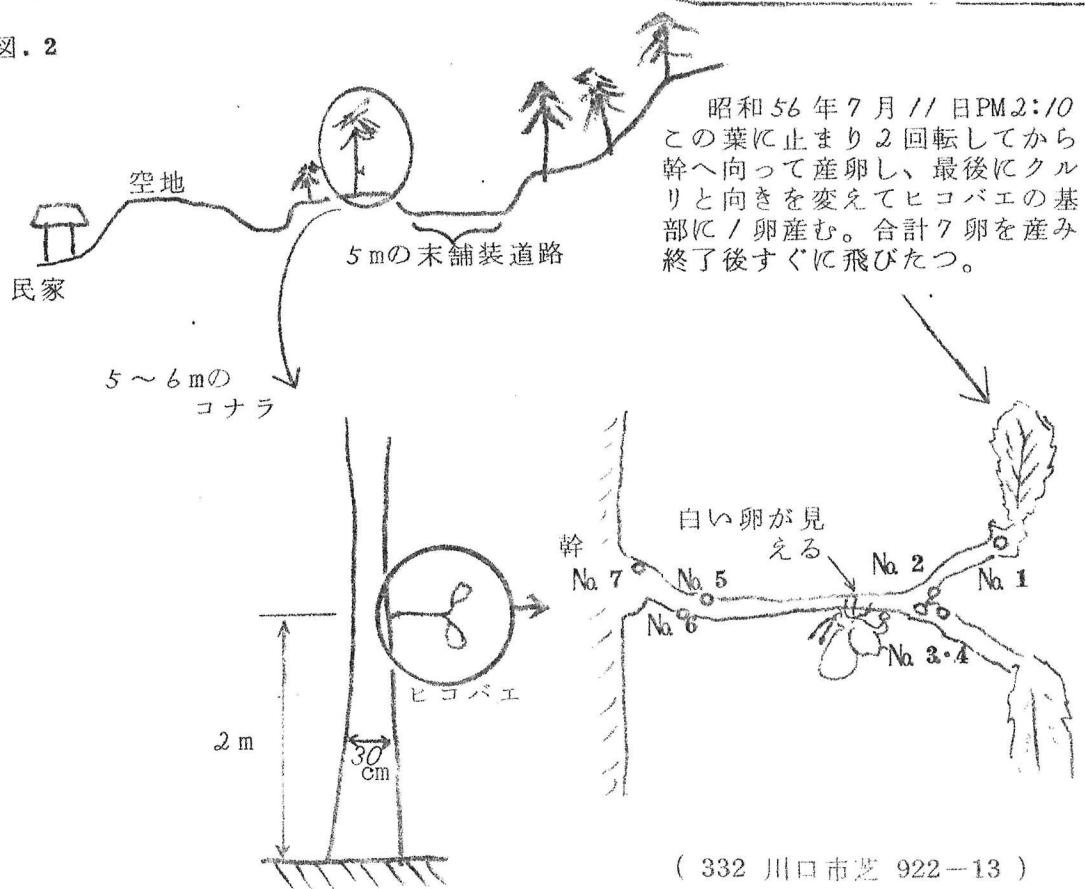


図. 2



~~~~~  
イチモンジセセリの産卵例

荻 島 和 美

1981年9月11日、与野市円阿弥において、イチモンジセセリ／♀の産卵を観察する機会がありましたので報告します。

校舎に伸び上がったシバ(芝)に産卵していると思って見ていると、 $2 \times 4\text{ mm}$ 程度の小石に1卵、近くの鉄柵に1卵、そして壁面(地上20cmくらい)に2卵ほど産卵しました。

5分くらいしか観察できませんでしたが、あとで見たところ、シバの葉に1卵だけ確認できました。

ずいぶんいい加減な産卵をすると思って見ていましたが、考えれば孵化した幼虫は容易に食草にたどりつける位置ではあります。シバの葉が細くて、つかまって産卵しにくいためかもしれません。

また、別の日、フジウツギにきていたイチモンジセセリ／♀が、産卵こそしないもののしきりに産卵の時と同じように腹端をフジウツギの茎に押しつけていました。

( 荻島氏からは、この原稿に同封して、小石に付着する本種の卵の接写写真も送られてきたのですが、印刷の都合で掲載できず残念です。 )

( 346-01 南埼玉郡菖蒲町小林 2952 )

~~~~~  
秩父市羊山公園でクマゼミの声を聞く

荻 原 辰 之 助

1981年8月16日、うす曇り、気温27°C

午前9時20分頃から5回、秩父市羊山公園のサクラの木でクマゼミの鳴くの聞いた。

秩父地方でクマゼミを聞いたという2~3の報告はあったが、羊山公園で確認したのは、はじめてである。

秩父地方に定着しているかどうかは不詳。昨年は鳴き声は聞かなかった。

( 368 秩父市上町 2-20-11 )

山梨県勝沼町でニホンセセリモドキを採集

原 聖樹

1981年3月22日午後、山梨県東山梨郡勝沼町のびんぐし川林道上においてニホンセセリモドキ / ex. を採集し、他にも飛翔中のもの数頭を目撃した。

この日は10時頃から晴間が出始め、午後になって気温が急に上昇。林道上ではミヤマセセリ♂♂・スジボソヤマキチョウ♀・クジャクチョウ♂・ヒオドシチョウ / ex. ・テングチョウ♂♂ 2exs. 等が活動していた。

その他、同地において、ウラミスジシジミ>アイノミドリシジミ>ジョウザンミドリシジミ>オオミドリシジミ>ミズイロオナガシジミ の越冬卵(多数)を採集。

(原氏からはこの原稿と共に、当日撮影したと思われるニホンセセリモドキの生態写真が2葉送られて来ましたが、印刷の都合から掲載することができないのが残念です。 ······ 編集子 )

( 220-02 津久井郡津久井町中野 617 北相寮 )

セスジスカシバの採集記録

市川和夫

この夏の宿泊談話会の折に、第2日目の午前中、秩父郡大滝村川又より数キロメートル南へ入った滝川の林道で、(東京大学農学部付属演習林の見本園の近く)埼玉県では未記録のスカシバ類を得たのでここに報告し、採集者に感謝申し上げる。

セスジスカシバ *Bembecia contracta* WALKER 2 exs.

採集地： 埼玉県秩父郡大滝村滝川

採集日： 1981年8月29日

採集者： 南部敏明 (筆者保管)

ツマトビキエダシャクの産卵行動

石塚勝巳

1980年8月25日20時頃、埼玉県入間市黒須の雑木林内でツマトビキエダシャク (*Bizia aexaria* WALKER) が産卵しているところを目撃したので報告しておく。林内のコナラの樹幹、地上70cm位のところを、同種のメスが1頭、前後翅をほぼ開いた状態で歩いていた。しばらくして止まり、樹幹のわざかに裂け目のある部分に腹部を内側に曲げ、緑色の卵を1つ産みつけ、また上方へ行き、闇の中に飛び去っていった。産卵した部分を見回したが、ほかに卵は見つからなかった。

なお、同地は、宅地の間に残存する雑木林の1つで、クヌギ・コナラ林になつており、コシロシタバなども棲息している。

( 358 入間市黒須 1-2-4 )

ツマジロウラジャノメ第1化を採集

平沢和夫

県内での、ツマジロウラジャノメ第1化の採集記録はおそらく皆無と思われる所以報告します。

ツマジロウラジャノメ 1♂ (新鮮個体)

採集地： 秩父郡大滝村中津川小学校

採集日： 1981年5月31日 (晴)

筆者採集、保管

山道の崖をゆるやかに飛んでいるところを採集。

( 368 秩父市滝の上町 11-38 )

XXXXXX  
訂正  
XXXXXX

「寄せ蛾記」No.31 p. 265 神久保氏の報文のタイトル

( 誤 )

棒ノ嶺と狭山湖畔のオオウラギンビヨウモン

( 正 )

→ 棒ノ嶺と狭山湖畔のオオウラギンスジヒヨウモン

埼玉県下でウラミスジシジミを採集

碓井徹

筆者は、埼玉県では未記録だったウラミスジシジミ *Wagimo signata* BUTLER を秩父郡大滝村で採集したので報告する。

採集日： 1981年 7月 29日

採集地： 埼玉県秩父郡大滝村中津川

採集個体： 1♂ やや汚損 f. *quercivora*

当日は、本会々員の亀井義弘氏の車で、赤羽トモ子氏と3名で中津川～三国峠を調査し、この個体を採集した周辺を3名でたたき回ったが、ゼフはこの個体以外には見られなかった。この記録は埼玉県下での本種の初記録であるが、筆者は、1972年 8月 4日に入川渓谷の奥で本種と思われるチョウを目撃しており、( 寄せ蛾記 15:92 /1975 ) 県下での分布は以外に広いのではないかと思われる。

( 362 上尾市壱丁目 454-3 )

奥秩父中津川のクロツバメシジミ

碓井徹

筆者は、大滝村中津川でクロツバメシジミ *Tongeia fischeri* MENETRIES を採集したので報告する。

採集日： 1981年 7月 24日

採集地： 埼玉県秩父郡大滝村中津川

採集個体： 1♂ 新鮮

中津川のバスの終点近くの民家の石垣に生えていたミセバヤ(ベンケイソウ科)に止まっていた個体を採集した。その直前に、この民家の上方の木の梢から白く輝くシジミが降下して来たのを見ており、おそらくこの個体であったと思われる。これを採集した後も、あるいは5日後の29日に再び同地を訪れた時もこの民家の周辺で本種を探したが発見できなかった。

( 362 上尾市壱丁目 454-3 )

寄せ蛾記

第33号

1981年10月15日

埼玉昆虫談話会

定価 250円